

サンデーサイエンス

竹炭でふうりんをつくろう

担当：植物研究室

1 内容

竹の形態を観察したり、スライドショーを見たりすることで、竹の形態的特徴や生態を知り、竹の魅力について感じとる。さらに博物館で作った竹炭を利用して風鈴をつくることで、様々な竹の利用方法について知る。

【竹の種類について】

モウソウチクとマダケ



〈モウソウチク〉函館市を北限とし、各地で栽培されている。国内では最大のタケ。マダケよりも折れやすいため、繊細な竹細工には向かない。節が1段になっている。

〈マダケ〉本州以南の広い地域に生育しており、節が2段になっている。

【竹炭の利用方法について】

●脱臭に利用

（使用例）

・インテリアを兼ねて、トイレや部屋の棚などに置く。冷蔵庫や下駄箱の中に置いたり、麻の小袋に入れて靴の中に入れたりする。

●浄水に利用

（使用例）

・水槽や金魚鉢にそのまま竹炭片を入れる。
・竹炭片を湯沸しポットに入れてお湯を沸かす。

タケとササの違いを確認する。



2 準備物

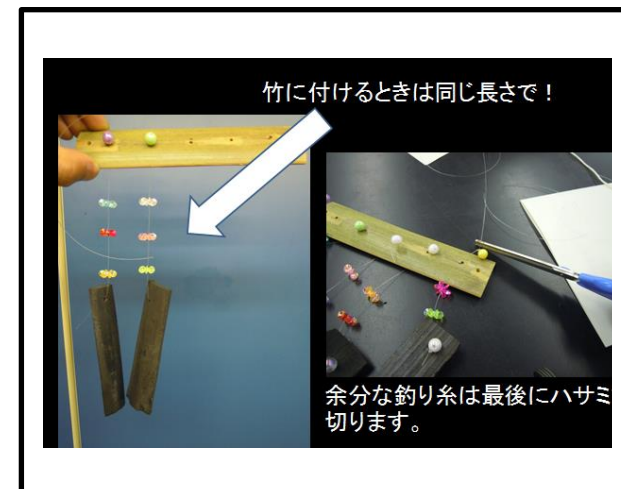
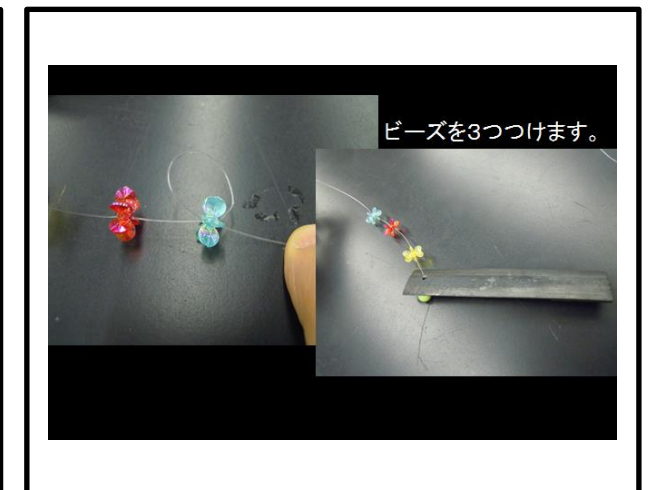
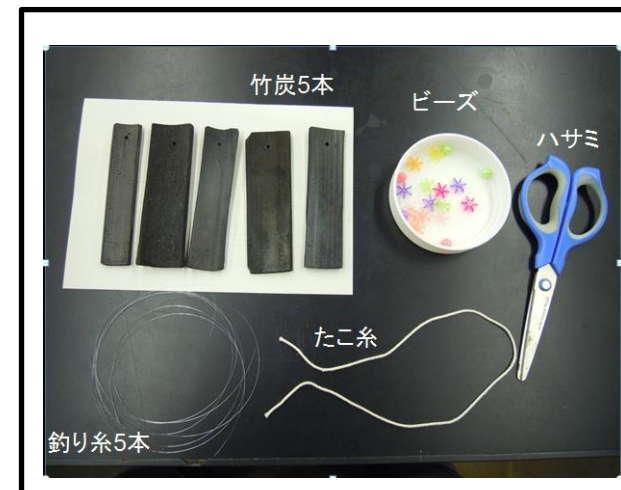
竹炭で作った竹べら 4 本、竹べら 1 本、プレゼンテーション資料、たこ糸、テグス（釣り糸）5 本、ビーズ数個、ハサミ、モウソウチク、マダケ

3 手順

（1）モウソウチク、マダケなどの身近にあるタケを観察し、その違いを比べる。

（2）竹クイズを行う。（タケとササの違いなどの確認クイズ）

（3）下の 4 の手順で風鈴づくりを行う。



4 注意点

・テグス（釣り糸）をビーズの穴に通し、一周させるとビーズが固定する。

5 参考資料

タケ・ササ図鑑. 創森社. 内村悦三.